



日本保全学会

東北・北海道支部
ニュースレター No.40

2026.1

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :
north.com@jsm.or.jp
Tel & Fax :
022-211-9889
Address :
〒980-8577
仙台市青葉区片平2-1-1
東北大学 流体科学研究所
内一研究室内
URL :
www.jsm.or.jp/branch/index.html

東北大学第12回公開講座 「今、エネルギーを考える」のご報告

日 時:2025年12月13日(土)13:00~16:15

会 場:東北大学片平さくらホール開催

講演1 「新たに始動した我が国の高速炉サイクル開発プロジェクト」

講師／日本原子力研究開発機構 高速炉サイクルプロジェクト推進室 室長
安藤 将人(あんどう まさと) 氏

講演2 「ヘリカル型核融合炉の実現に向けた Helical Fusion 社の開発計画」

講師／株式会社 Helical Fusion 共同創業者・代表取締役 CTO
宮澤 順一(みやざわ じゅんいち) 氏

東北大学流体科学研究所が主催し、同大学大学院工学研究科および日本保全学会 東北・北海道支部が共催する第12回公開講座「今、エネルギーを考える」が、2025年12月13日(土)に開催されました。

本講座は、エネルギー問題を多面的な視点から見つめ直し、あらためて日本のエネルギー政策を考える素地を提供することを目的としたものです。

第12回目となる今回の講座は、昨年度と同様に東北大学片平さくらホールを会場としての開催となりました。

東北大学片平さくらホールには47名の方々にご参加いただき、盛会となりました。

講座では、核燃料サイクル開発および核融合エネルギー開発に関する、非常に示唆に富む内容を大変分かりやすくご講演いただきました。講師のお二方ならびに、熱心にご参加くださり多くのご質問を寄せられた参加者および関係者の皆様に、心より御礼申し上げます。

開催にあたり、日本保全学会 東北・北海道支部 支部長である東北大学流体科学研究所教授の内一哲哉氏より、開催の趣旨と今回の講演内容等に関する説明が述べられ、東北大学原子力安全・廃止措置研究センター特任教授の堂崎浩二氏の司会により進行されました。



〈内一哲哉氏 開会の挨拶〉

日本保全学会

東北・北海道支部
ニュースレター No.40

2026.1

Editor

日本保全学会
東北・北海道支部
広報・会員委員会

Contact

Mail :
north.com@jsm.or.jp
Tel & Fax :
022-211-9889

Address :
〒980-8577
仙台市青葉区片平2-1-1
東北大学 流体科学研究所
内一研究室内
URL :
www.jsm.or.jp/branch/index.html

はじめに日本原子力研究開発機構 高速炉サイクルプロジェクト推進室 室長の安藤将人氏より「新たに始動した我が国の高速炉サイクル開発プロジェクト」として高速炉の仕組みと意義および今後の開発ロードマップ等について講演が行われ、堂崎浩二氏をコーディネータに活発な質疑応答が行われました。



＜安藤将人氏 ご講演の様子＞

休憩を挟んで、株式会社 Helical Fusion 共同創業者・代表取締役 CTO の宮澤順一氏より「ヘリカル型核融合炉の実現に向けた Helical Fusion 社の開発計画」として同社が進める技術実証炉『HARUKA』、定常核融合発電炉『KANATA』の開発計画および研究開発の現況等について講演が行われ、東北大学大学院工学研究科教授の遊佐訓孝氏をコーディネータにこちらも活発な質疑応答が行われました。



＜宮澤順一氏 ご講演の様子＞

閉会にあたり、東北大学大学院工学研究科教授の渡邊豊氏より、講師のお二方へ感謝の言葉と講演内容の振り返り等が述べられました。



＜渡邊豊氏 閉会の挨拶＞

(東北電力株式会社 大江公彦)